

6.まとめ

調査対象とした風蓮湖周辺及び温根沼地区は面積約 470 km² で、この報告書に取りあげた温根沼、ラムサール条約登録湿地の風蓮湖・春国岱など豊かな自然を有しています。

本調査で得られた成果及びデータが、環境調査等のその他の知見とともに、地域の環境保全や交流・学習活動等、環境や土地利用の改変の歴史と現状を踏まえた適切な利用のための基礎資料として、自然と共生する地域づくりに広く活用されることを期待します。

本調査の実施に際して、北海道庁、北海道根室支庁、北海道森林管理局根釧東部森林管理署、根室市、別海町、根室湾中部漁業協同組合、その他関係機関よりポーリング資料や森林基本図を始め各種資料を提供していただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

なお、この報告書に使用した地形図等は、国土地理院が発行している2万5千分1地形図、5万分1地形図、20万分1地勢図及び国土地理院が作成した旧版地形図であり、また使用した写真は、国土地理院撮影の空中写真及び国土地理院が保有する米軍撮影の空中写真、並びに現地調査等で撮影したものであることを付記します。

参考文献

- 池田安隆、今泉俊文、東郷正美、平川一臣、宮内崇裕、佐藤比呂志編(2002)：第四紀逆断層ア
トラス 東京大学出版会 P254
- 大平明夫、海津正倫、浜出 智 (1994)：風蓮湖周辺における完新世後半の湿原の形成
第四紀研究 33(1) P45-50
- 活断層研究会編(1991)：新編日本の活断層 東京大学出版会 P437
- 環境庁(1993)：第4回自然環境保全基礎調査「湖沼調査報告書」北海道版(北海道)
P1-180~196
- 国土交通省国土地理院(2010)：平成21年 全国都道府県市区町村別面積調 P138
- 国土庁土地局(1979)：土地分類図01 (北海道)
- 市町村要覧編集委員会(2009)：全国市町村要覧(平成21年版) P571
- 浜中町(1975)：浜中町史 P716
- フィールドガイド根室制作委員会(1976)：根室の景勝と史跡 P110-119
- 別海町百年史編纂委員会(1978)：別海町百年史 P731
- 北海道立地下資源調査所(1963)：5万分1地質図幅説明書「別海」
- 北海道立地下資源調査所(1973)：5万分1地質図幅説明書「西別」
- 北海道立地下資源調査所(1959)：5万分1地質図幅説明書「根室北部」
- 北海道立地下資源調査所(1973)：5万分1地質図幅説明書「姉別」
- 北海道立地下資源調査所(1962)：5万分1地質図幅説明書「厚床および落石岬」
- 北海道立地下資源調査所(1958)：5万分1地質図幅説明書「根室南部」
- 北海道根室高等学校地理研究部(1983)：「春国岱」自然調査報告書 P1-8
- 北海道根室市教育委員会(1987)：根室市の自然と文化財 P20-38
- 北海道根室振興局、<http://www.nemuro.pref.hokkaido.lg.jp/gaiyo/index.html> (accessed 30 Aug. 2010).
- 北海道自然保護協会(1987)：道立自然公園総合調査(野付風蓮道立自然公園)報告書 P-21
- 松井信輝、松井仁晃(1983)：根室半島郷土学習資料 地学編 - P2-31
- 根室市(1968)：根室市史 P819

(五十音順)

用語集

汽水湖 (p3) : 内湾、河口部などにあり、海水の影響により淡水と混入し多少塩分を含む湖沼。代表的な湖沼として北海道のサロマ湖、風蓮湖、静岡県の浜名湖などがある。

ヨシ (p3) : 池沼や河口などに群生する高さ 2 ~ 3 m の大型の多年草。地下茎は太く横にはう。茎は硬く、直立する。葉は長さ 20 ~ 50cm 前後の線形で、互生する。8 ~ 10 月頃、茎の先に淡紫色の小穂を密につける。アシともいう。

ラムサール条約 (p3) : 正式な名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、1971 年に、イランのラムサールで開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」で採択された条約。

環境省レッドリスト絶滅危惧 類 (p5) : 環境省が定める絶滅のおそれのある野生生物（動植物）のリスト。絶滅危惧 類とは、絶滅の危険が増大している種のことをいう。

海跡湖 (p4) : 砂州や沿岸州・砂嘴などの発達によって海の一部が閉塞されて生じた潟湖のような湖を指す。

DGPS (p7) : 位置のわかっている基準局が発信する FM 放送の電波を利用して、GPS (全地球測位システム) の計測結果の誤差を修正して精度を高める測量技術。Differential Global Positioning System の略。

国営農地開発事業 (パイロットファーム) (p23) : 近代代的な機械を導入した経営の形態をとった先駆的な実験農場。昭和 31 年 (1956) に北海道の根釧台地を開墾した農場などがある。

検土杖 (p28) : 土壌調査用具の一つで簡易ボーリングにおいて主に使用される。長さ 1 m または 1.5m 程度の鋼鉄製の棒の先端 1/3 (30cm または 50cm) に溝があり、反対側に把手が付けられるようになっている。溝の先端を土壌に押し込み把手を 1 回転して引き上げ、溝に詰まっている土壌の色や粒径組成を調べる。次に同じ穴に 2/3 まで押し込んで引き上げる。これを 3 回繰り返すと 90cm あるいは 150cm までの土壌断面の大体の様子がわかる。

低層湿原 (p29) : 地表 (湿原) が周りの土地の地下水位より低い湿原。